

令和2年11月5日
FIoT コンソーシアム 応力発光技術分科会
会長 寺崎 正
主査 藤尾 侑輝
センシング評価診断技術コンサルティング事務局
福田 伸子

令和2年度 第2回 応力発光技術分科会のご案内 (センシング評価診断技術コンサルティング事務局との共催)

拝啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、当コンソーシアムの分科会活動に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今回は、産業技術総合研究所・センシングシステム研究センターにおける応力発光技術を用いた取り組み、特に近年フォードブルフォン等などの発売により白熱するフレキシブルデバイスの評価に焦点を当て、そのニーズ、試験法、応力発光技術だからこそ可視化できる可能性について議論いたしたく、下記要領にて第2回分科会を開催いたします。ご出席のほど、よろしくお願いいたします。

敬具

記

日時:2020年11月27日(金) 13:30~15:30 (13:00 受付開始)
会場:産業技術総合研究所 臨海副都心センター 本館4階 第1会議室(412-413室)
※:Microsoft Teams によるオンライン会議も併用

- 13:30~13:35 開会挨拶
応力発光技術分科会 会長 寺崎 正
- 13:35~14:10 講演 1「フレキシブルエレクトロニクスと評価・診断技術」
産業技術総合研究所 センシングシステム研究センター 研究チーム長 福田伸子
質疑・応答
- 14:10~14:55 講演 2「フレキシブルデバイスの耐久性評価の動向を考える」
ユアサシステム機器株式会社 R&D 係長 安藤 直継 様
質疑・応答
- 14:55~15:25 総合議論
進行役 応力発光技術分科会 会長 寺崎 正
- 15:25~15:30 次回案内、事務連絡等
応力発光技術分科会 主査 藤尾 侑輝

※今回は会場の受け入れ可能人数の関係上、誠に恐縮ながら、募集人数を【14名まで】とさせていただきます(原則1社1名様、申込順)。

※総合討論のトピックス

下記3点を、総合討論のトピックス質問と致します。

予め事務局にお送り頂いても構いませんし、その場でお聞かせ頂くことがある点、ご了承下さい。

-
1. フレキシブルデバイスが市場を作り、日本メーカーが上位に見えるためには、
どのような評価・診断技術が、標準的に行われるべきか？
(現在、既に実施の評価法、不実施の評価法、含めたご意見)
 2. 特に、1のうち、今後開発し、標準評価、診断法とすべきものは、あるか？
 3. 応力発光などで、機械的挙動を可視化したい点、があればお知らせください。

以上